

# 市立枚方宿鍵屋資料館

## 概要・今後の課題



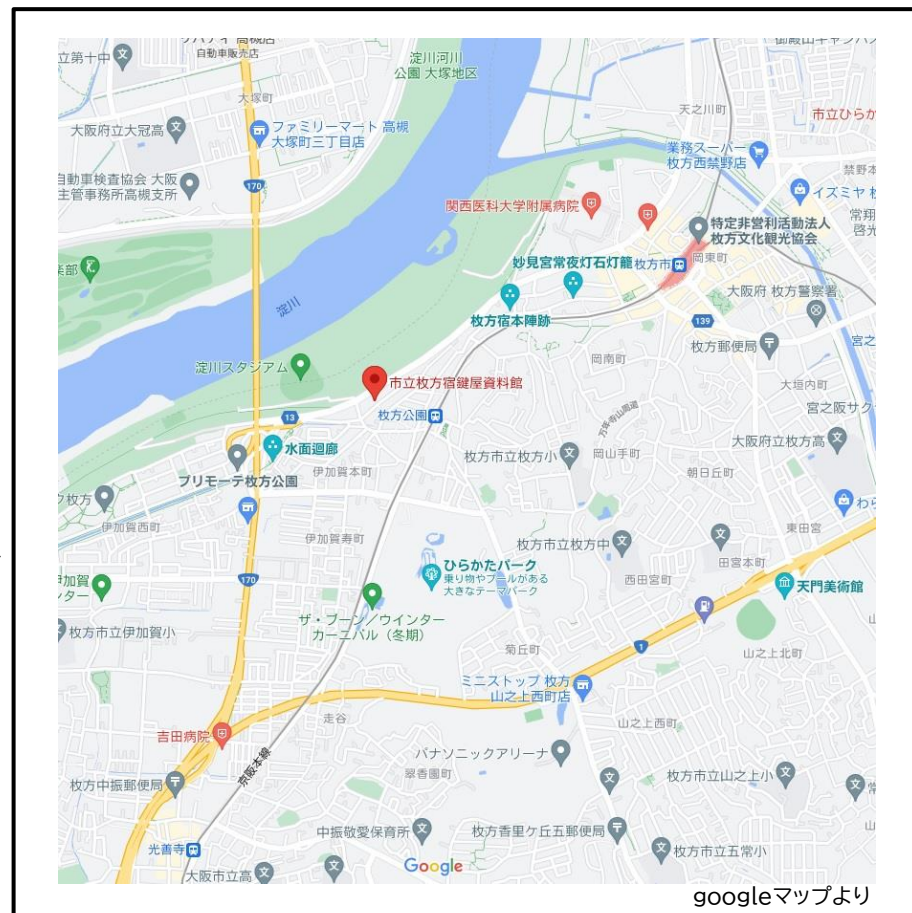
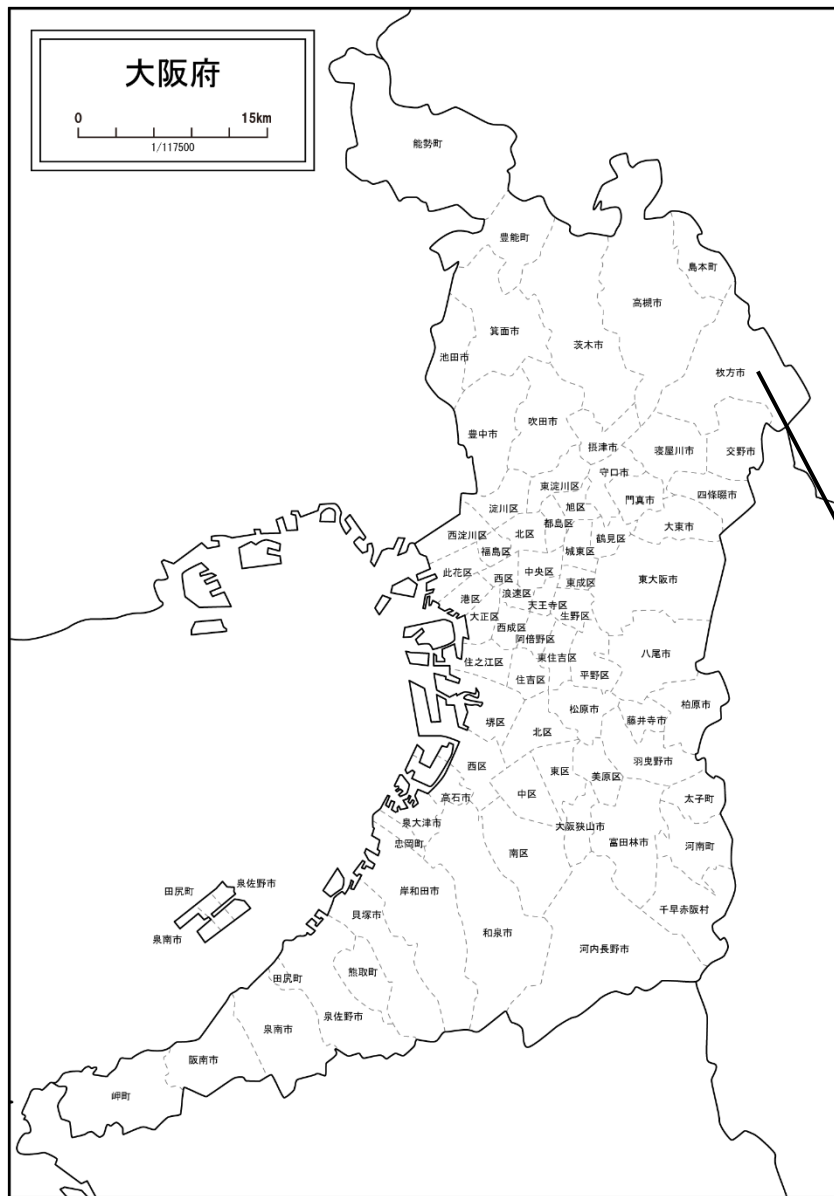
市立枚方宿

# 鍵屋

資料館



# 「鍵屋」とは



大阪府枚方市堤町10-27  
京阪「枚方公園」駅より徒歩3分程度

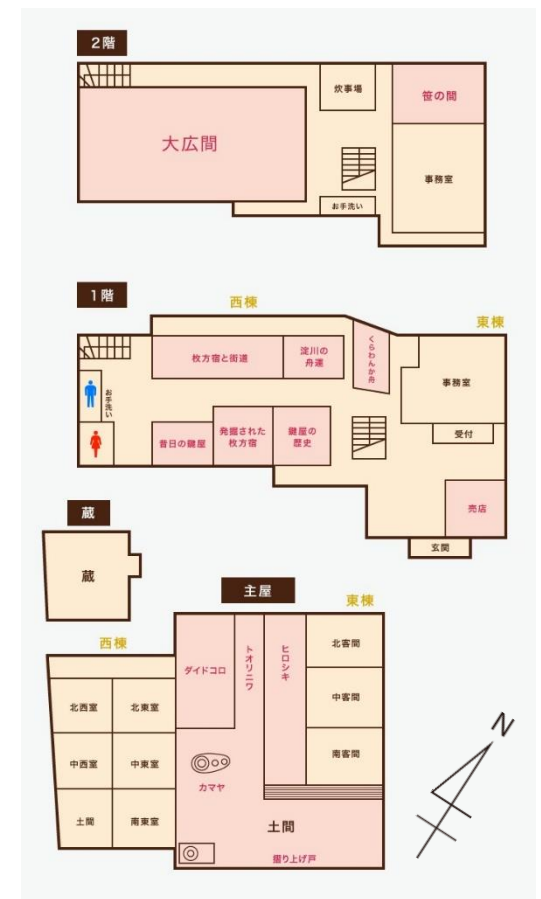
平成9年(1997)4月  
平成10年(1998)4月  
平成11年(1999)2月  
平成13年(2001)1月  
平成13年(2001)7月  
令和3年(2021)7月

主屋が枚方市有形文化財に指定。  
枚方市史跡に鍵屋の敷地全体が指定。  
主屋の解体修理工事、4月から別棟の補強工事。  
主屋の復元が竣工。  
「市立枚方宿鍵屋資料館」として開館。  
開館20周年。

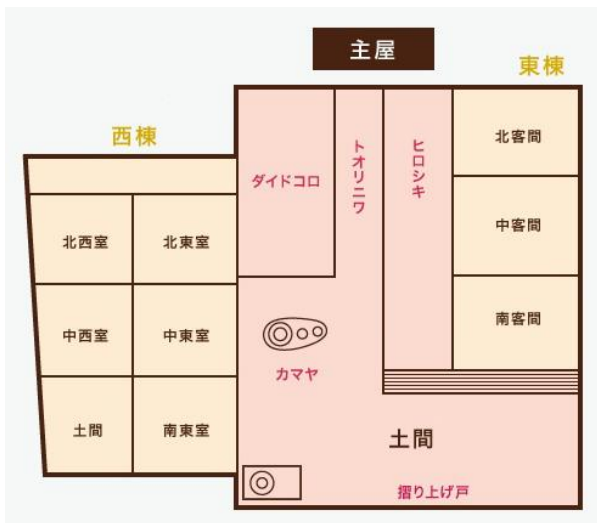


# 「鍵屋」とは

- ・「鍵屋(かぎや)」というのは屋号。
- ・創業は天正年間(1573~92)と伝えられているが、真偽は不明。
- ・江戸時代は、街道を行き来する人々の宿泊施設、淀川往来の船を待つことができる宿「船待ち宿」を営んでいた。
- ・大正・昭和期には料亭・料理旅館として有名になり、平成9年(1997)まで営業していた。
- ・鍵屋は、主屋と別棟の2つの建物にわかれている。
- ・主屋は解体修理の際に発見された「文化8年(1811)」の墨書銘から19世紀初頭の町家建築であることがわかった。別棟は昭和3年(1928)の建築で、料亭・旅館時代の面影を残す。

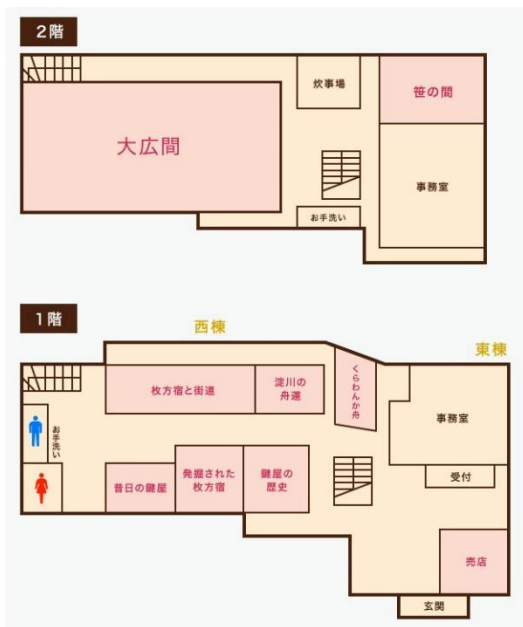


# 主屋





# 別棟







# 枚方宿とは

- ・宿(しゆく)とは宿駅(しゆくえき)のことを指す。宿駅とは、江戸時代、貨客運搬に必要な人馬を継ぎ立てる施設が設置された場所。
- ・豊臣秀吉が文禄5年(1596)に淀川左岸に築いた堤防である「文禄堤(ぶんろくづつみ)」を利用して、京～大坂を結んだ「京街道」または「大坂街道」と呼ばれる街道ができ、のちに東海道の延長部として整備された。
- ・一般には東海道は品川宿から大津宿までの53宿と言われるが、京街道の4宿(伏見宿・淀宿・枚方宿・守口宿)を合わせると、57宿となる。枚方宿は江戸から数えて56番目の宿。





# 淀川の舟運

- ・淀川は京と大坂という二大都市を結ぶ重要な交通路。
- ・多量の物資や旅客を運ぶ場合、船による水上輸送は、陸上輸送よりも安価で容易な方法だった。
- ・江戸時代、伏見～大坂間を上下する三十石船と呼ばれる旅客船があった。
- ・その三十石船に2人乗りの小さい舟で近づいて、飲食物を商う煮売茶舟があった。餅や酒、ごんぼ汁などを、「餅くらわんか、酒くらわんか」という乱暴な売り言葉で声をかけることから俗に「くらわんか舟」と呼ばれ、枚方の名物になっていた。



↓アニメーションで1つ前のスライドに組み込む予定。



歌川広重「京都名所之内 淀川」

# ① 鍵屋の歴史

鍵屋が登場する古文書(複製)や鍵屋  
旧蔵資料などを展示。



## ②発掘された枚方宿

主屋の解体修理の際の調査や、枚方宿内の発掘調査で出土した遺物を展示。

### くらわんか茶碗

枚方宿遺跡から数多く出土。長崎県波佐見などの産地で作られた厚手で素朴な器。安価な日常磁器として流通し、くらわんか舟でも使用されていたのではないかと考えられ、「くらわんか茶碗」という名が後世で使われるようになった。



↓アニメーションで1つ前のスライドに組み込む予定。



くらわんか茶碗をデザインした箸置きの  
ガチャガチャもあります！

### ③ 昔日の鍵屋

主屋の解体復元工事の記録写真や、幕末～明治期の鍵屋を再現した模型を展示。





## ④枚方宿と街道

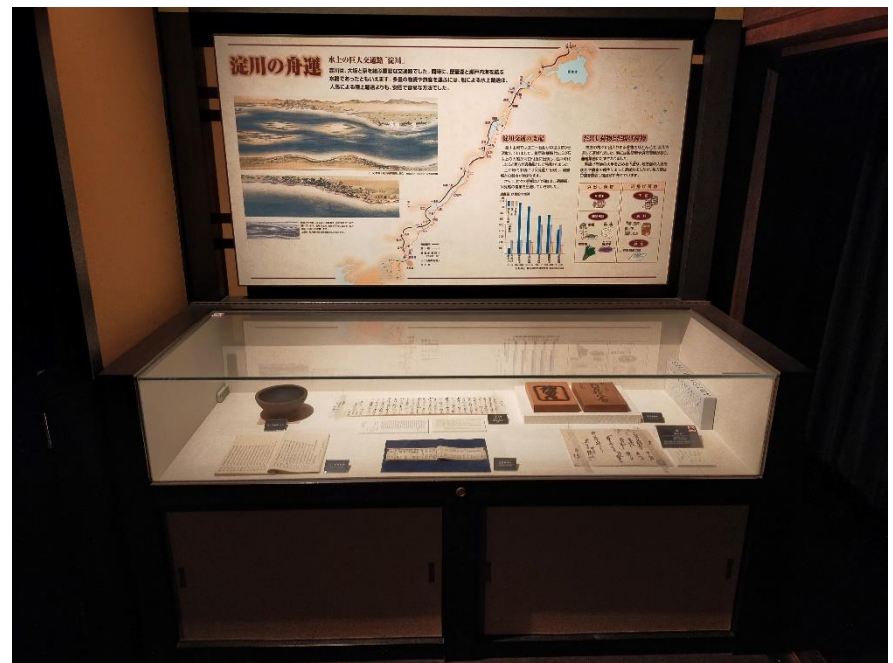
枚方宿の町並みや宿場の運営などについて紹介、大名行列のようすを再現したジオラマなどを展示。

※企画展の際は展示替え。



# ⑤淀川の舟運

淀川交通について紹介、三十石船や煮売茶舟に係る絵画資料などを展示。また、くらわんか舟での掛け合いを再現した立体映像も見られる。



## ⑥くらわんか舟

くらわんか舟のリアルな復元模型。  
火どころがあり、ごんぼ汁などを熱いま  
ま提供できるようになっている。



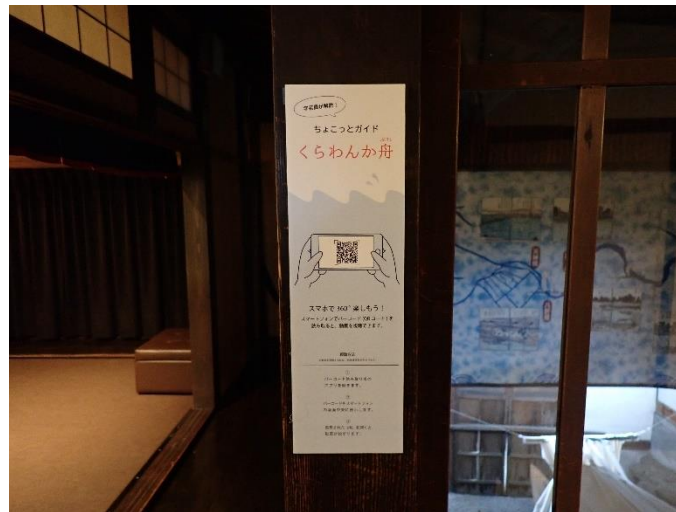
# 隠れ鍵マーク



# 新しい試み

## ◆VR映像を用いた展示解説の設置

- ・国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)の今井研究員のご協力のもと作成。
- ・建物内に設置してあるQRコードをスマートフォンなどで読み取ると、youtubeアプリを通して、360°映像を見ながら展示解説を聞くことができ、くらわんか舟やかつての鍵屋の様子を間近に感じられる。



## ◆360°映像を用いた非接触型展示案内の実施

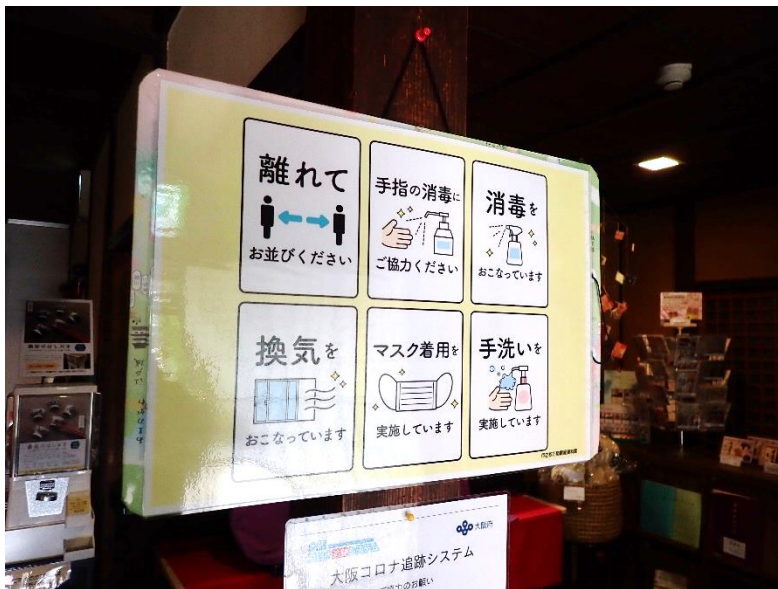
- ・国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)の今井研究員のご協力のもと作成。
- ・展示室などを360°で撮影した映像を、大広間のモニターで見てもらいながら、学芸員が遠隔で操作し、解説する。展示室を連れ立ってまわらなくても、各部屋の解説をすることができる。

朝日新聞  
大阪版



# 感染症対策

- ・来館者にはマスク着用・アルコールによる手指の消毒・ソーシャルディスタンスの確保をお願いしている。
- ・鍵屋としては、①窓や扉をあけて換気・空気清浄機の稼働、②イベントや講座の定員人数を減らす(例:定員100名→50名)・団体見学はグループに分けて案内する・来館者同士の間隔をあける・アクリル板の設置などの対策を実施。

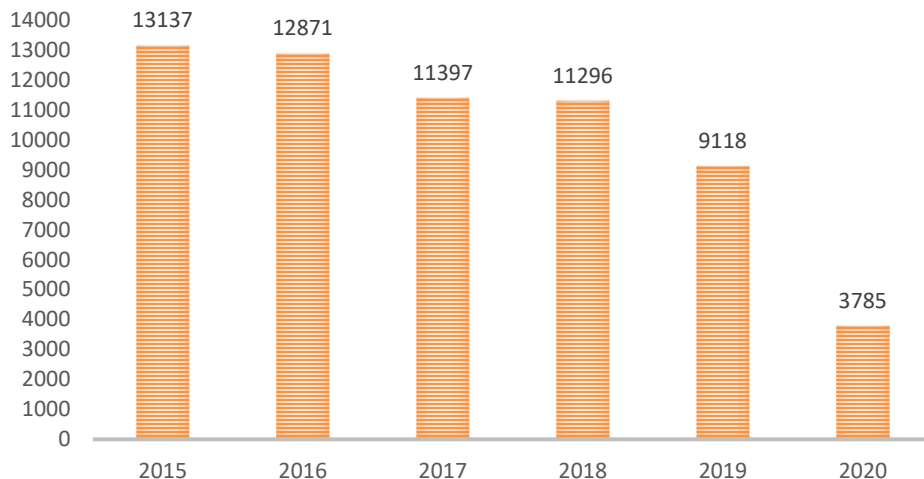


# 今後の課題

## ◆集客

- ・過去6年間の来館者数(下記グラフ参照)を比較すると、減少傾向であることがわかる。とくに昨年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で大幅に減少した。
- ・今後は感染対策をしっかりと行ったうえで、どのように来館者を呼び込むかが課題。

来館者数



※2019年度は、新型コロナウイルス感染拡大のため、2月20日以降イベント禁止、3月2日以降臨時休館。

※2020年度は、4月1日から5月31日まで、および12月7日から2月28日まで臨時休館。





# 今後の課題

## ◆幅広い世代の来館者の獲得

・10代～30代の若年層の来館者が少ない。子ども向けイベントなどには参加してもらえるが、普段の来館者は高齢層が多い。

・イベントだけではなく、鍵屋や枚方宿について、若年層へ関心をもってもらうにはどうすればいいのか。どのような情報発信をしていくのが有効か。



# サポートについて

- ◆質問・相談に対応します。
- ◆鍵屋資料館に関する資料などの提供、館内の仕掛けなどについては、可能な限り協力します。
- ◆参加者へのアンケート調査を実施する場合は、可能な限り協力します。
- ◆素晴らしいアイデアや取り組みは表彰します。

## ※注意事項

- ・質問や相談は、個人的にではなく、できればグループでまとめてください。
- ・調査のために来館される場合は、事前に来館予定日や来館人数などのご連絡をお願いいたします。事前にご連絡をいただいた場合は、入館料はいただきません。

